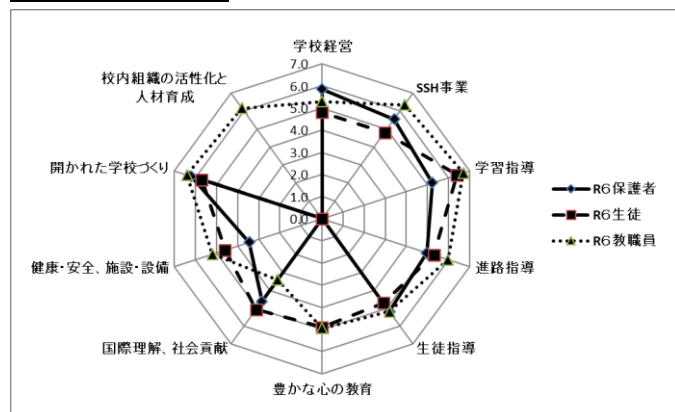


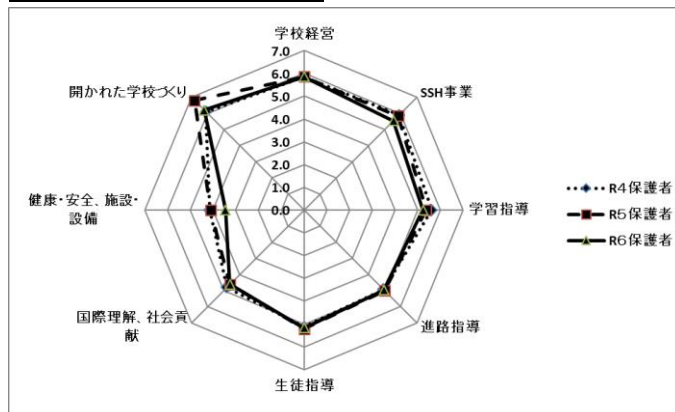
【令和6年度学校評価アンケート総括】

回答数	教職員	50	(昨年度	53、一昨年度	64)
	保護者	491	(昨年度	895、一昨年度	886)
	生徒	775	(昨年度	760、一昨年度	870)

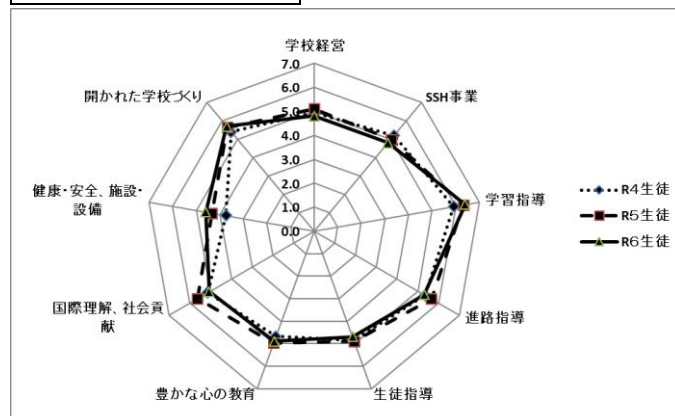
令和6年度学校評価



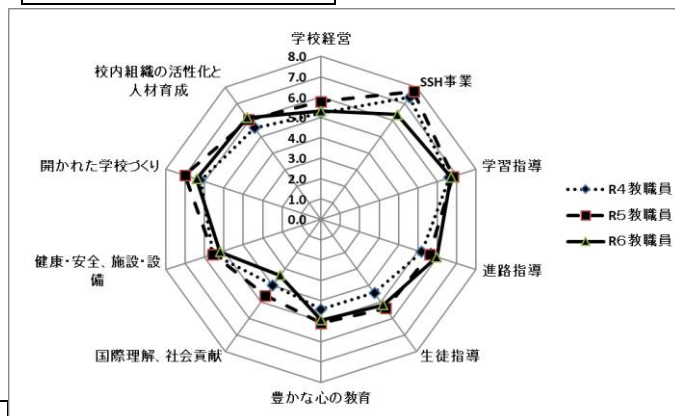
令和6年度学校評価[保護者]



令和6年度学校評価[生徒]



令和6年度学校評価[教職員]



【学校評価アンケート総括】

(概況) 昨年度と比較すると評価指数は若干の変動が見られるが、これまでの取組が一定の成果をあげていることがうかがえる。一方で、保護者の回答数が大幅に減少しており、次年度はより多くの回答が得られるようアンケートの周知方法を工夫する必要がある。昨年度同様、「SSH 事業」と「健康・安全、施設・設備」の項目については教員の評価に比べて、生徒と保護者の評価の方が相対的に低い傾向が見られる。「SSH 事業」については、授業や行事が「SSH 事業」として十分に認知されていない可能性がある。「健康・安全、施設・設備」については、限られた予算の中で修繕を行っているが、修繕箇所が多いため、対応が追いついていない状況にある。引き続き優先順位を設定しながら、計画的に修繕を進めていく予定である。

※評価指数とは下の4段階を数値化し平均の値を求めたものである。

1. よくあてはまる 10
2. ややあてはまる 5
3. あまりあてはまらない 5
4. 全くあてはまらない 10

(各項目) 主に昨年度までの結果との比較と、単年度の評価をまとめています。

1. 「学校経営」に関しては、全体的には昨年度と大きな変化は見られないが、教職員の評価のポイントがやや減少している。学校の方針や運営についての理解を深めるため、組織内の情報共有を強化することが必要である。
2. 「SSH 事業」の評価はポイントが減少している。特に教職員のポイントが大きく減少しているが、SSH 事業の取組が十分に認知されていない可能性があるため、取組の周知やその意義など、情報発信を強化することで、理解を促進していく必要がある。
3. 「学習指導」に関しては、共通項目 No. 10 の「ICT 機器を利用した授業」、T11「学校全体で探究型授業の改善・工夫に取り組んでいる」、S8「授業では、講義だけでなく話し合ったり発表したりする機会がある」の項目が引き続き高い評価を得ている。学校全体で取り組んでいる探究型授業が浸透している結果と考えられる。
4. 「進路指導」に関しては、昨年度と比べ大きな変化は見られない。

5. 「生徒指導」に関しては、共通項目 No. 17 の「クラスにおける活動」の評価ポイントが減少している。クラスで目標を共有し、主体的に取り組める活動の充実が求められる。
6. 「豊かな心の教育」に関しては、大きな変化は見られない。
7. 「国際理解・社会貢献」に関しては、共通項目 No. 26「ゴミの分別や減量」No. 27「清掃について」の項目が大幅に減少している。現在、月水金のみ清掃を行っているため、清掃に対する意識の低下が懸念される。清掃活動の頻度や方法を見直し、意識の向上を図る必要がある。
8. 「健康・安全、施設・設備」に関して、大きな変化は見られないが、共通項目 No. 30 に関して、教職員の評価ポイントは減少しているが、生徒の評価ポイントは増加している。トイレの改修など、生徒の学校生活に関わる箇所の修繕が評価ポイント増加の要因と思われる。
9. 「開かれた学校づくり」に関しては、T31「学校の教育目標や教育課程を保護者・生徒に対して分かりやすく示している」の項目が減少している一方で、共通項目 No. 32 のポイントが高くなっている。ホームページの刷新やブログの更新などは評価されており、情報発信の効果が見られる。また、S26「岡山市や地元公民館主催行事に積極的に参加している」の項目が5ポイント近く増加している。課題探究の発表やサイエンスレクチャーを通して、生徒の積極的な行動が促進されていることがうかがえる。
10. 「校内組織の活性化と人材育成」に関しては、T35「校務分掌上で教職員間の協力と連携の協働体制が取れている」の項目が昨年度に引き続き大幅に向上した。教員同士の協働体制がより強化されており、今後もこの流れを維持することが重要である。

本年度の結果をふまえ、評価の高い取組を継続・強化しつつ、課題点については具体的な改善策を講じることで、より良い学校環境の充実を目指したい。